

# IMF世界経済見通し(2016年4月時点)

## 世界経済の見通しを3四半期連続下方修正

- 国際通貨基金(IMF)は4月12日に公表した最新の世界経済見通しで、2016年の世界全体の予想成長率を3.2%に引き下げました。新興国の景気減速で世界的に貿易や投資が鈍化すると懸念から、前回(2016年1月時点)見通しから0.2ポイント下方修正しています。IMFが見通しを下方修正するのは3四半期連続となります。IMFは現状の世界経済の停滞を受け、成長を下支えするために主要各国が速やかに行動を起こす必要があると強調しています。
- 日本については、個人消費の低迷から2016年の見通しを0.5%下方修正し、0.5%としました。更に2017年についても同年4月に消費税率が10%に引き上げられることを想定し、0.4%下方修正して0.1%のマイナス成長になると予想しました。主要国で唯一マイナス成長に転落すると見込まれており、当見通しは日本政府の今後の経済対策や消費増税を巡る議論に一石を投じる可能性もありそうです。
- 2016年の先進国全体の成長率は1.9%、新興国全体は4.1%と見込み、何れも0.2%下方修正しました。また、同年の米国の成長率は2.4%、ユーロ圏は1.5%とし、何れも0.2%下方修正しています。
- 同年の中国の成長率については、これまでに発表された政策措置等を踏まえて0.2%上方修正し、6.5%としました。主要国の中で唯一上方修正されています。インドは前回と同じ7.5%の成長となり、前年に続き中国を上回る状態が続くと予想されています。

図表1: IMF世界経済見通し(前年比)

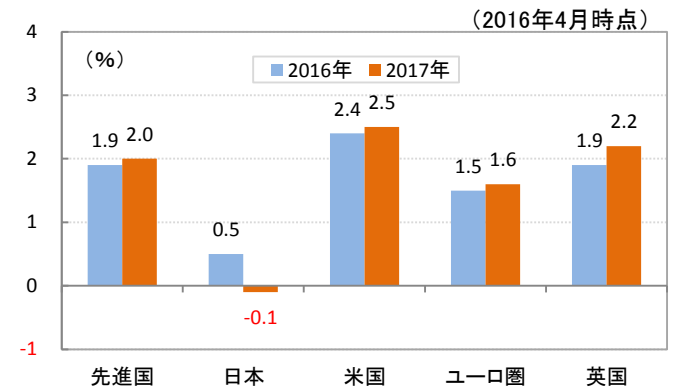
	2015年 (前年比、%)	見通し (前年比、%)		前回(2016年1月時点) との比較(%)	
		2016年	2017年	2016年	2017年
世界	3.1	3.2	3.5	-0.2	-0.1
先進国	1.9	1.9	2.0	-0.2	-0.1
日本	0.5	0.5	-0.1	-0.5	-0.4
米国	2.4	2.4	2.5	-0.2	-0.1
ユーロ圏	1.6	1.5	1.6	-0.2	-0.1
ドイツ	1.5	1.5	1.6	-0.2	-0.1
フランス	1.1	1.1	1.3	-0.2	-0.2
イタリア	0.8	1.0	1.1	-0.3	-0.1
スペイン	3.2	2.6	2.3	-0.1	0.0
イギリス	2.2	1.9	2.2	-0.3	0.0
カナダ	1.2	1.5	1.9	-0.2	-0.2
新興国	4.0	4.1	4.6	-0.2	-0.1
中国	6.9	6.5	6.2	0.2	0.2
インド(※1)	7.3	7.5	7.5	0.0	0.0
ASEAN5(※2)	4.8	4.8	5.1	0.0	0.0
ブラジル	-3.8	-3.8	0.0	-0.3	0.0
ロシア	-3.7	-1.8	0.8	-0.8	-0.2
オーストラリア(※3)	2.5	2.5	3.0	-	-

(※1) インドは年度ベース

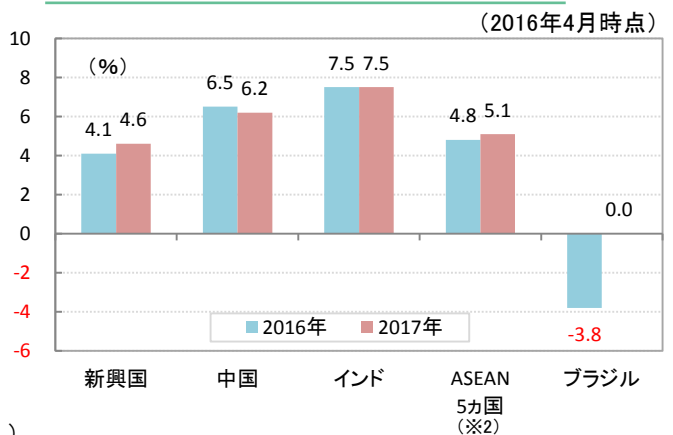
(※2) インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

(※3) オーストラリアの見通し公表は4月と10月のみ(2016年1月見直し無し)

図表2: 主要先進国の経済見通し(前年比)



図表3: 主要新興国の経済見通し(前年比)



出所: 図表1~3はIMFデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。